

《心理科学部 臨床心理学科 第4学年 (令和元年度(2019年度)一般入学生に適用)》

【卒業に必要な単位数】

領域	配当学年	(単位) 必修					(単位) 選択必修①					(単位) 選択②	(単位) ①+② 選択合計		
		1	2	3	4	計	1	2	3	4	計	②	合計		
全学教育科目	教養教育	導入科目	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	選	7	15 単位以上
		教養科目	-	-	-	-	-	16	4	-	-	-	択		
	基礎教育	外国語科目	2	2	-	-	4	-	-	-	-	-	必		
		健康・運動科学科目	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	修		
		情報科学科目	4	-	-	-	4	-	-	-	-	-	(*1)		
医療基盤教育	医療基盤科目	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-				
必要単位数(計)		10	2	-	-	12	-	-	-	-	8	7			
専門教育科目	公認心理師科目	心理学基礎科目	12	-	-	-	12	-	4	-	-	-	選	16	44
		心理学発展科目	4	4	4	-	12	-	12	4	-	-	必		
		実践心理学	-	4	4	-	8	-	-	4	-	-	修		
		心理学関連科目	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	選		
		実習演習科目	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	択		
	臨床心理専門科目	研究	-	-	2	4	6	-	-	-	-	-	必		
		専門基盤科目	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	修		
		コミュニケーション科目	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(*2)		
		心理療法	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
		進路支援科目	-	2	-	-	2	-	-	-	-	-			
		医療系科目	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-			
		産業心理科目	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-			
		必要単位数(計)		17	10	10	4	41	-	18	10	-	16		
卒業に必要な単位数(合計)		27	12	10	4	53	-	-	-	-	24	51	75以上		
128以上															

【各学年配当の、必修科目数】

領域	配当学年	(科目) 必修					
		1	2	3	4	計	
全学教育科目	教養教育	導入科目	1	-	-	-	1
		教養科目	-	-	-	-	-
	基礎教育	外国語科目	2	2	-	-	4
		健康・運動科学科目	-	-	-	-	-
		情報科学科目	3	-	-	-	3
医療基盤教育	医療基盤科目	1	-	-	-	1	
配当科目数(計)		7	2	-	-	9	
専門教育科目	公認心理師科目	心理学基礎科目	5	-	-	-	5
		心理学発展科目	2	2	2	-	6
		実践心理学	-	2	2	-	4
		心理学関連科目	-	-	-	-	-
		実習演習科目	-	-	-	-	-
	臨床心理専門科目	研究	-	-	1	2	3
		専門基盤科目	-	-	-	-	-
		コミュニケーション科目	-	-	-	-	-
		心理療法	-	-	-	-	-
		進路支援科目	-	1	-	-	1
		医療系科目	1	-	-	-	1
		産業心理科目	-	-	-	-	-
		配当科目数(計)		8	5	5	2
配当科目・題目数(合計)		15	7	5	2	29	
仮進級に係る基準科目数(*3)		3	1	1	-	-	

《選択科目における修得必須要件について(選択必修)》

(\*1) 【教養教育:教養科目】内の、授業科目「人間と思想」「人間と文化」「人間と社会」「自然と科学」から、それぞれ2単位以上修得し、合計:4授業科目で8単位以上の修得が必須である(選択必修)

(\*2) 【専門教育科目】分野に配当の選択科目において、指定の13科目から16単位以上の修得が必須である。(選択必修)

《専門教育科目:公認心理師科目について》

公認心理師資格取得をめざすためには、「公認心理師科目」34科目(必修32単位、選択42単位、合計74単位)をすべて修得する必要がある。

(\*3) 必修科目に不合格がある場合でも、当該学年に配当されている必修科目数の合計のうち、20%を超えない不合格科目数の場合には、仮進級を認めることがある。

\* 仮進級者試験での不合格科目数は、当該年度の不合格科目に加算するため、基準科目数が異なる場合がある。

＜心理科学部 臨床心理学科（平成29年度(2017年度)一般入学生に適用）＞

【卒業に必要な単位数】

(単位)

領域	配当学年	必修				選択		
		1	2	3	4		計	
全学教育科目	教養教育	導入科目	2	-	-	-	2	15単位以上 (*)
		教養科目	-	-	-	-	-	
	基礎教育	外国語科目	2	2	-	-	4	
		健康・運動科学科目	-	-	-	-	-	
		情報科学科目	4	-	-	-	4	
医療基盤教育	医療基盤科目	2	-	-	-	2		
必要単位数(計)		10	2	-	-	12		
専門教育科目	臨床心理専門科目	心理学基礎	6	8	2	-	16	26単位以上
		医科学	1	2	-	-	3	
		経験と成長	4	4	4	-	12	
		個人と社会	2	4	2	-	8	
		臨床実践の基礎	2	4	4	-	10	
		査定と援助	-	4	6	-	10	
		実習	-	-	4	-	4	
		研究	4	2	2	6	14	
	必要単位数(計)		19	28	24	6	77	
卒業に必要な単位数(合計)		29	30	24	6	89	41以上	
						130以上		

(\*) 「人間と思想」「人間と文化」「人間と社会」「自然と科学」から4授業科目8単位以上修得。

【各学年の配当必修科目数】

(科目)

領域	配当学年	必修					
		1	2	3	4	計	
全学教育科目	教養教育	導入科目	1	-	-	-	1
		教養科目	-	-	-	-	-
	基礎教育	外国語科目	2	2	-	-	4
		健康・運動科学科目	-	-	-	-	-
		情報科学科目	3	-	-	-	3
医療基盤教育	医療基盤科目	1	-	-	-	1	
配当題目数(計)		7	2	-	-	9	
専門教育科目	臨床心理専門科目	心理学基礎	3	4	1	-	8
		医科学	1	1	-	-	2
		経験と成長	2	2	2	-	6
		個人と社会	1	2	1	-	4
		臨床実践の基礎	1	2	2	-	5
		査定と援助	-	2	3	-	5
		実習	-	-	-	-	-
		研究	2	1	1	2	6
	配当題目数(計)		10	14	10	2	36
配当科目・題目数(合計)		17	16	10	2	45	
仮進級に係る基準科目数(*)		3	3	2	-	-	

(\*) 当該学年に配当されている必修科目に不合格がある場合でも、不合格科目数が規定の科目数を超えない場合は、仮進級が認められる場合がある。(配当科目-題目数×20%)

\* 「臨床心理臨地実習」単位未修得の場合には仮進級は認められない。

\* 仮進級者試験での不合格科目数は、当該年度の不合格科目に加算するため、基準科目数が異なる場合がある。

\* 実習科目の「臨床心理臨地実習」を除いて算出(第3学年)。